



絵に込めたありがとう 園児から感謝の贈り物

葛巻保育園の年長児24人は3月19日、自分たちが描いた除雪車の絵を、町の除雪作業をしているおじさんたちにプレゼントしました。

12月に除雪車体験試乗会に招待されたお礼として「除雪車に乗せてくれてありがとう。これからもお仕事がんばってね」と、メッセージ入りのかわいい表紙で綴られた32枚の絵を贈りました。

「20年もこの仕事をしていて、このようなプレゼントをもらったのは初めて。ひと冬の疲れが一気に吹っ飛びました」と運転手さんも笑顔で感謝の言葉を返しました。

24人は、楽しい思い出を胸に、4月から始まる新しい小学校生活へ期待を膨らませていました。

運転手のおじさんに「ありがとう」と絵を手渡す
村木咲音ちゃん(さきね)と丸山貴大くん(たかひろ)



夢に向かってスタート 48人が小学校を巣立つ

町内小学校の卒業式は、3月19日と20日の二日間で行われ48人が学びやを後にしました。

小屋瀬小学校(田村えい子校長、児童34人)では、鈴木南さんと山本桜子さんの二人が卒業式に臨みました。どんなときも相談しながら助け合って学校生活を送ってきた二人に、田村校長は「最高学年として立派に責任を果たした二人、胸を張って中学校に進んでください。夢に向かって成長してください」と励ましの言葉を贈り、後輩たちからも温かい拍手が送られました。

また、町内の三つの中学校では、77人が元気に学びやを旅立ちました。

小屋瀬小学校の卒業生は女子2人。在校生に送られ学びやを後にする鈴木南さん

安全を守ってダブル表彰 誓い新たに安全安心な町

町は3月18日、交通安全と防犯活動で二つの賞を受賞しました。17日までの一年間、交通死亡事故ゼロを達成し県警本部長から賞賛状を、また昨年一年間、刑法犯認知件数もゼロだったことで若手警察署長から町防犯協会(会長・鈴木重男町長)へ感謝状が贈られました。

役場で行われた表彰式には、交通安全と防犯で活躍する皆さんが出席。鈴木町長は「関係者の努力のおかげで町の誇りがまた増えた。今後もさらに安全安心を守りたい」と、感謝と決意を述べました。



吉田岩手警察署長(右から2人目)から賞賛状を受ける鈴木町長と土谷典雄町防犯隊長(左)と関係者

楽しかった学びの一年 4地区で笑顔の終了式

平成20年度高齢者大学終了式は、2月12日の北部地区をはじめに町内4地区で行われ、331人が修了証を手にした。

昨年4月から、地区ごとにスポーツや創作活動、伝承活動などを通じて研修や交流を深めた一年間。「皆さんとお会いできるのが楽しみでした」と佐藤馨さん(北部地区)は満面の笑みを浮かべました。

「お疲れ様でした。また来年笑顔でお会いしましょう」と、再会を誓いながら終了式を終わりました。



北部地区の終了式はふれあい宿舎グリーンテージで開催。ジャンケンゲームで最後まで笑顔の終了式

すようなごどで



ディビット・マナーリオ(指導主事助手・31歳)

釈然としない酒

僕は、各学校の廊下を歩くとき、壁に張ってあるポスターを見る習慣があります。ある日、僕の目にとまったポスターがありました。それは、飲酒による身体に与える影響や、仲間の強要に負けないことなどが載っていました。僕はそれを見て思わず笑ってしまいました。僕も、飲み会に誘われ、お酒を飲もうとよく言われるからです。

僕は、ちよっと特別かもしれませんが、アメリカに住んでいたときはあまりお酒を飲みませんでした。このことを僕のアメリカの友人に聞いても、同じ答えが返ってくると思います。葛巻では、よく飲み会に誘われますが、お酒を飲むことを遠慮することが多いです。すると、「なんで飲まないんだ? 気に入らない」とか、「酒飲め!」と強烈に言われたりするところがあります。飲まないとそのグループに親しもうとしないと勘違いされることもあります。日本の「仲間意識」の考え方に慣れることもありますが、飲まない仲間はずれにされる? というのも、僕は、お酒を飲む、飲まないを重要視し過ぎるのでは? と思います。その会に参加することが重要で、飲むか飲まないかはどうだって良いのでは? と思います。大酒飲みのALT(外国人指導助手)が良かったですか?僕は自分なりに生きていきます。尊重してください。

この文章は、ディビットさんが日本語で書いています。



せんべい焼きも3年目となると慣れたもの。次々と焼き上げていきます。円内は大沢自治会のやすみっこで行われた昔懐かしい「炭すご」編み

せんべい焼いて3年目 橋場地区でやすみっこ

「せんべい焼きして、お茶っ飲みませんか」と、橋場地区で「やすみっこ第2弾」を開催しました。

せんべい屋さんが多かったというこの地区には、焼き型が残っている家庭が多く、これを持ち寄って始めたせんべい焼きは今年で3年目。女性ら約25人が橋場地区生活改善センターに集合。実家がせんべい屋だった入月トキさんの指導を受け「今では弟子、孫弟子まで育ちましたよ。冬場の交流にも大いに役立っています」と、会を企画した中崎保子さんは成果を喜びました。

「ちらし寿司」や焼き上がったせんべいを入れた「せんべい汁」など、参加者手作りの昼食を味わいながら、冬の楽しい一日を過ごしていました。